

小岩第三中学校応援団実践報告書

1 校長及び代表者氏名

学校長 小岩第三中学校長 蓮沼 千秋
代表 学校応援団 代表 日高 久仁子

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
屋上での取り組み	屋上緑化	・芝生の管理、菜園の管理、調理部の食材提供、 かるがもの見守り
グリーンカーテンの 取り組み	グリーンカーテン	・ゴーヤ・ヘチマ、ひょうたんの栽培 ・ヒマワリ笑顔運動の管理 ・菜の花一杯、笑顔運動の管理
水族館の取り組み	水族館	・岩三釣り大会の運営、魚の管理、 金魚すくいの運営
基礎学力向上取り組み	基礎学力向上	・授業支援、土曜授業指導

3 学校応援団組織図

江戸川区で一番面倒見の良い学校を目指します！



屋上緑化



グリーンカーテン



水族館



基礎学力向上



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

学校応援団のみなさんの力が、生物環境部員や授業で支援を必要としている生徒の支えとなっています。特に「心の教育」を重視している本校の大きな特色の一つです。

<課題>

サポーターとしての大人を更に募集することや、維持費の捻出が課題です。

5 代表より

私が学校応援団として活動するきっかけは屋上緑化のお手伝いでした。日々進化していく屋上での活動を進めていくうちに生物環境部のお手伝いをするようになりました。

子供達と過ごす時間はとても楽しく、最初は土いじりに消極的だった生徒も何かを発見したり自然と触れ合っているうちに、“わあ！すごい！”とすごく感動したり積極的に活動に参加するようになった姿を見ると本当に嬉しくなります。

収穫の喜び、カルガモの成長、心癒される水槽の管理など楽しいこともたくさんある反面、夏の暑い中での草取り、芝刈り、早朝のカルガモの餌やりなど大変なこともたくさんあります。微力ではありますがこうした活動のお手伝いをするにより、生徒たちをより身近に感じながら学校の環境を整えることへつながって行けばこんなに嬉しいことはありません。

学校応援団では水族館、グリーンカーテン、屋上緑化、など自然との共存する活動の他にも学力向上の取り組みのお手伝いもしています。少しでも学校の力になりたいと思っている地域の人々と学校教育をより充実させたいと考えている先生方の思いがつながり結成された学校応援団。こうしたあたたかい気持ちのつながりが充実した学校環境をつくり、子供達へと伝わっていくことを願いつつこれからも活動していきたいと思えます。

今年も一歩前進することが出来ました。

6 学校長より

本校の学校応援団の取り組みもスタートしてはや4年目を迎え、かなり軌道にのってきました。取り組み内容にありますように、様々な活動を展開していますが、どれも、学校の教育環境を充実させるという目的に叶ったプロジェクトになっています。

本校では、校舎屋上での野菜作りや植物栽培、ミニ水族館の運営、毎年やってくるカルガモの保護がその活動の柱となっていますが、応援団の方々には生徒の活動を支える大きな力になってもらっています。また、本年度は数学の学習支援にも応援団の方のお力添えをいただいております。

中央玄関の水槽は、多くの来校者の方の目にも留まり、「中学校ではあまり見ることのできない光景ですね」、「癒しになる取り組みですね」等の感想を聞くと大変温かな気持ちになります。しかし、結構維持費がかかるので大変な面もあります。ですが、何よりも、生徒たちが屋上や玄関の野菜や植物、生物を大切に育てたり、見守ったりしながら自分たち自身の心を育ててくれていることが大きな成果だと考えています。

これからも、保護者や地域の方々のご協力ご支援を得ながら、有意義な学校応援団の活動を続けていきたいと考えています。